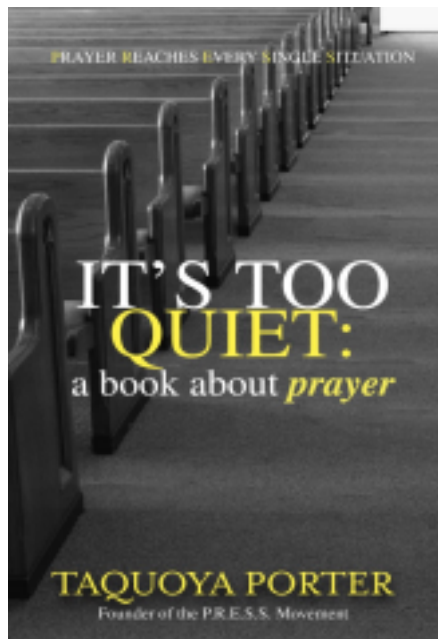


プレスリリース

静寂すぎる静けさ：祈りについての本。

祈りの最中に催涙ガスを浴びる、複数の流産を経験する、病気の人に手を置いて祈ったところ癒しと回復を目の当たりにする等、異なる年齢、人種、国籍の人々に世界各地で奉仕を行った著者タコヤ・ポーターは、祈りが常に聴かれることを宣言し、これを伝えるために祈りの本の執筆に至る！



2021年2月発行

「...信仰にあってあゆみの浅い人にも、信仰の歩みにあって経験豊かな人にも多くの答えが示されている...」- 読者レビュー

読みやすく、聖書に正しく基づいた祈りについてのこの本で、著者は祈りに関する質問に取り組んでいる。読者は時には笑い、泣き、この本を「祈りと神との関係についてのガイド」と呼んでいる。各章には、自由応答形式の、また、経験を踏まえた質問が含まれており、個人またはグループでの学習に最適である。

静寂すぎる静けさ：この祈りについての本では、人が祈りが本当に何であるかを知っているとき、祈りは常に応えられることを明確に示していく。暴動、分裂、憎しみ—我々の世界のあらゆる問題の中で、静寂すぎる静けさが際立つのは何故かなのか！誰もが祈らねばならない。神が人の声に耳を傾けると、あなたの声を代弁できる人は一人もいないことをご存知ですか？神はあなたの声を聴こうとしておられる。祈る必要性や私たちが直面している問題を認識している人もいるが、祈りを取り巻く多くの疑問がそこには残る：

- 祈りは、ただ神に話しかけているということだけなのか？
- どのくらいの時間を祈りに費やすべきか？ 祈りの頻度はどれくらいか？
- 神はすでに全てをご存知なのに、なぜ祈る必要があるのか？
- 何度も祈ればそれが信仰を意味するのか？
- 祈ったが何も変わらなかった、ではそこでどうすべきか？
- 神は私の声を聞いてくださるのか？
- 本当に神に祈りが届いているのか、また神はそれに応じてくださるのかをどのようにして知ることができるのか？

タコヤ・ポーターは7歳でイエスに生涯を捧げるに至る。彼女は16年間に渡り、ターニングポイント ファミリーワークショップセンターの青年達の牧師を務め、若者や子供たちのためのプログラムを担当し、彼らの霊的な成長を見守っている。インディMBK (マイ・ブラザーズ・キーパー・イニシアティブ) の理事会員、およびミニスター。彼女はまた、青年部の合宿や、TM子供キャンプ、海外ミッション活動にも携わる。彼女はPRESS (Prayer Reaches Every Single Situation) プレス ムーブメントを立ち上げ、全国にPRESSクラブが設立するに至るり、過去2万人の人々に影響を与えている。彼女は3人の子供たちの母であり、約20年に渡り妻であるという祝福を受けて今にいたる。



メディア連絡先情報：

タコヤ・ポーター

C: 317.946.6188

ipray@press2pray.com

www.press2pray.com

www.facebook.com/taquoya.porter Instagram: @taquoyaporter